

奈良国立文化財研究所要綱

I 事業概要

1 研究普及事業

公開講演会

- (1) 1992年5月16日 第70回公開講演会
「王様と鉞—中国新石器時代の武器を考える—」
佐川 正敏
「遺構は語る—平城宮内裏地区の遺構変遷をめぐって—」
橋本 義則
- (2) 1992年11月7日 第71回公開講演会
「南中国の先史住居—発掘遺構にみる住まいの多様性」
浅川 滋男
「丸瓦作りの一工夫—畿内における竹状模骨丸瓦の様相—」
花谷 浩
- (5) 1992年11月14日 石神遺跡第11次 山本 忠尚
(6) 1992年11月21日 平城宮跡第230次 (式部省) 中村 慎一
(7) 1993年2月13日 雷丘北方遺跡第3次 岩永 省三
(8) 1993年2月20日 平城宮跡第238次 (第二次朝堂院東第五堂) 岸本 直文
(9) 1993年3月27日 本薬師寺中門跡 本中 真

現地見学会

- (1) 1992年11月24日 藤原宮跡第70次 (内裏西外郭地区)

現地説明会

- (1) 1992年6月13日 平城宮跡第229次 (式部省跡) 小澤 毅
(2) 1992年6月27日 藤原宮跡第67次 (東方官衙地区) 川越 俊一
(3) 1992年8月11日 薬師寺北面回廊・講堂 松本 修自
(4) 1992年8月22日 平城宮跡第230次 (左京三条一坊十・十五・十六坪) 小野 健吉

平城宮跡資料館・遺構展示館 (見学者数)

区 分	資料館	遺構展示館	計
1992年	64,009	69,795	133,804
累 計	1,236,400	1,571,230	2,807,630

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

2 1992年文部省科学研究費補助金による研究

新 継	種 目	研 究 課 題	研究代表者	交付額(千円)
新	特別推進研究(1)	古代生活環境復原のための新手法の確立	佐原 真	118,000
新	重点領域研究(1)	遺跡探査法の総合的開発研究	西村 康	5,500
新	重点領域研究(2)	集落・埋納遺跡の探査	西村 康	2,400
継	一般研究(A)	データ・ベースの開発による近世社寺建築研究の総括	松本 修自	2,000
継	〃	神殿造の総合的研究	牛川 喜幸	2,400
継	一般研究(B)	石器製作過程復原と製作追試実験研究	松沢 亜生	500
継	一般研究(C)	古代宮都における内裏の基礎的研究	橋本 義則	400
新	〃	蔵書印からみた寺院書跡資料の伝来に関する研究	綾村 宏	400
新	〃	平城宮・京出土土師器の分類と産地同定	巽 淳一郎	800
新	〃	七・八世紀の粘土紐・粘土板桶巻作りの軒平瓦の製作工程復原による工人系譜関係の研究	山崎 信二	700
新	〃	伝統的木造建築の構造安定性に関する研究	内田 昭人	1,300
新	〃	古代園池の立地と形態	高瀬 要一	1,200
新	〃	東西文明交流においてステップルートが果たした役割	山本 忠尚	800

新	奨励研究 (A)	室町時代の軒瓦の地域的比較研究 (近畿・東国編)	佐川正敏	900
新	〃	日韓出土馬具の比較研究	花谷浩	900
新	〃	弥生時代装身具の編年的研究	岩永省三	900
新	〃	前方後円墳墳丘規格の系統的研究	岸本直文	900
新	〃	先史華南の住居址とその地域性 生態学的適応と民族史的背景	浅川滋男	800
継	試験研究 (B)	フラックスゲートを用いた新しい磁気探査装置—三軸グラジオメーターの開発	西村康	4,400
新	〃	わが国古代の稲作農耕研究における生物考古学的手法の開発	工楽善通	7,500
継	国際学術研究	日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究	鈴木嘉吉	7,500
新	〃	日韓における考古遺物の材質・技法に関する分析の比較研究	沢田正昭	3,700
継	研究成果公開促進費	長屋王木簡データベース	町田章	4,840
	計	23件		168,740

特別推進研究(1)	(新規)	1件	奨励研究 (A)	(新規)	5件
重点領域研究(1)	(新規)	1件	試験研究 (B)	(継続)	1件
〃 (2)	(新規)	1件	〃 (B)	(新規)	1件
一般研究 (A)	(継続)	2件	国際学術研究	(継続)	1件
〃 (B)	(継続)	1件	〃	(新規)	1件
〃 (C)	(継続)	1件	研究成果公開促進費	(継続)	1件
〃 (C)	(新規)	6件	計		23件

3 飛鳥資料館の運営 展示

第一展示室 常設展示

第二展示室

春期研究展示「高松塚壁画の新研究」

明日香村・勸飛鳥保存財団共催

1992.4.9～5.31 (53日間)

秋期特別展示「飛鳥の工房」

1992.10.9～12.8 (61日間)

特別講演会

1992年4月25日

「高松塚壁画の線描—日本伝統絵画との考察—」

星山 晋也

1992年5月23日

「高松塚壁画の一背景—古代日本に宦官はいなかった—」

佐原 真

1992年10月17日

「古代の鑄造技術」

中野 政樹

1991年11月14日

「古代ガラスの材質」

肥塚 隆保

普及

インフォメーションルームにおいて観覧者の質問に応じている。特別展示の刊行物として「高松塚壁画の新研究」及び「飛鳥の工房」を刊行した。

入館者数 (1992.4.1～1993.3.31 開館日数318日)

区分	個人観覧	団体観覧	有料	無料	合計
一般	39,670	15,312	121,654	9,298	130,952
高・大生	6,481	13,623			
小・中生	9,510	37,058			
計	55,661	65,993			

陳列品購入

山田寺出土青銅五尊像複製

青銅の飾座金・釘など鑄造に関する資料

木工ワロクロによる製品の製作過程を示す一括資料

4 埋蔵文化財センターの研修・指導

研修 埋蔵文化財の保護に資することを目的として
主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象
に次の研修を実施した。

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(遺跡探査過程)
1992年5月12日～5月22日(参加者8名)</p> <p>(2) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(環境考古課程)
1992年5月28日～6月19日(参加者20名)</p> <p>(3) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者一般研修
(一般研修)
1992年7月1日～8月7日(参加者32名)</p> <p>(4) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(石器調査課程)
1992年8月25日～9月8日(参加者20名)</p> <p>(5) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(遺跡測量課程)
1992年9月17日～10月8日(参加者20名)</p> <p>(6) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(文化財写真課程)
1992年10月13日～10月30日(参加者21名)</p> | <p>(7) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(中近世遺跡調査課程)
1992年11月5日～11月13日(参加者32名)</p> <p>(8) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(遺跡保存整備課程)
1992年11月19日～12月9日(参加者19名)</p> <p>(9) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(保存科学基礎課程)
1993年1月19日～1月29日(参加者16名)</p> <p>(10) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(木器調査課程)
1993年2月4日～2月9日(参加者30名)</p> <p>(11) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(有機質遺物応急処置課程)
1993年2月16日～2月19日(参加者16名)</p> <p>(12) 平成4年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(埋蔵文化財基礎課程)
1993年3月2日～3月8日(参加者38名)</p> |
|--|---|

研修員一覧表

氏名	所属	受入れ期間	受入れ部局	研究・研修内容
国内				
天野秀昭	三重県埋蔵文化財センター 管理指導課 主事	1992.9.1～1992.11.30	飛鳥藤原宮跡発掘調査部	発掘調査研修
野口美幸	同上 技師	1992.11.9～1993.2.8	平城宮跡発掘調査部	同上
森下英治	香川県埋蔵文化財調査センター技師	1993.2.18	埋蔵文化財センター	保存科学研修
高橋学	秋田県埋蔵文化財センター 学芸主事	1993.3.1	同上	同上
国外				
鄭桂玉	大韓民国 国立文化財研究所 遺跡調査研究室 学芸研究士	1992.5.10～1992.11.10	埋蔵文化財センター	考古学研修
申昌秀	大韓民国 慶州文化財研究所 文化財管理局 文化部	1992.5.18～1992.5.28	同上	保存科学研修
朴文濟	同上	同上	同上	同上
鄭永東	同上	同上	同上	同上
李勝奎	同上 監査担当官	1992.8.16～1992.8.23	同上	同上
ソーレン・ アンデルセン	デンマーク オーフス大学 教授	1992.10.6～1992.10.31	同上	考古学研修
趙由典	大韓民国 国立文化財研究所 文化財管理局 遺跡調査研究室長	1992.10.19～1992.12.25	同上	保存科学研修
万俐	中華人民共和国 南京博物院 文物保護研究所	1992.10.26～1992.12.26	平城宮跡発掘調査部	考古学研修

朱 岩 石	中華人民共和国 中国社会科学院 考古研究所 第三研究室	1992.10.28~1992.12.26	同上	同上
包 強	同上	同上	同上	同上
文 煥 哲	大韓民国 国立文化財研究所 保存科学物理金属室 保存処理担当	1992.11.1~1992.12.30	埋蔵文化財センター	保存科学研修
焦 南 峰	中華人民共和国 陝西省考古研究所 助理研究員	1992.11.1~1993.2.27	同上	考古学研修
ウォンチュック ・キンレイ	ブータン内務省 技官	1992.11.18~1992.12.7	平城跡発掘調査部	同上
ナデージナ・アル テシトヴァ	ロシア科学アカデミー極東支部歴史 学・考古学・民族学研究所 研究員	1992.12.4~1992.12.14	埋蔵文化財センター	考古学研究・研修
ニ ー ナ ・レシエンコ	同上	同上	同上	同上
ユ ー リ ー ・ニキーチン	同上	同上	同上	同上
金 鍾 吾	大韓民国 国立慶州博物館 学芸研究室	1992.12.14~1992.12.27	同上	保存科学研修
朴 成 澤	大韓民国 東亜大学校	同上	同上	同上
カムバイ・ カンタヴォン	ラオス 情報文化省 博物館考古局 考古課 課長補佐	1993.1.18~1993.3.17	同上	仏教遺跡研修
ウォンマニ・ ムンティソン	ラオス 情報文化省 博物館考古局 考古課 専門員	同上	同上	同上
趙 現 鍾	大韓民国 国立光州博物館 学芸研究室 学芸研究士	1993.2.3~1993.3.30	同上	考古学研修
姜 大 一	大韓民国 国立文化財研究所 文化 財管理局 保存科学専門職員	1993.2.12~1993.2.21	同上	保存科学研修
金 秉 柱	大韓民国 啓明大学校博物館 保存科学係長	1993.2.15~1993.2.21	同上	同上
李 肖	中華人民共和国 新疆文物考古研 究所 文博館員	1993.2.20~1993.5.19	平城宮跡発掘調査部	考古学研修
楊 鴻 助	中華人民共和国 中国社会科学院 考古研究所 教授	1993.2.20~1993.2.27	同上	同上
張 之 平	中華人民共和国 中国文物研究所 古建築保護部 副主任	同上	同上	同上
金 東 賢	大韓民国 国立文化財研究所 文化財管理局 保存科学研究室長	1993.2.22~1993.2.28	埋蔵文化財センター	保存科学研修
チョンブスト・ ブラサツェット	タイ王国 シルパコーラ大学 考古学科 講師	1993.3.1~1993.5.31	同上	同上
鄭 聰	イギリス・ホンコン 香港中文大学 中国文化研究所 副研究員	1993.3.3~1993.3.13	同上	仏教遺跡研修
安 秉 燦	大韓民国 国立中央博物館 保存科学室 学芸研究士	1993.3.4~1993.3.27	同上	同上
徐 光 冀	中華人民共和国 中国社会科学院 考古研究所 副所長	1993.3.14~1993.3.28	平城宮跡発掘調査部	考古学研修
段 鵬 琦	中華人民共和国 中国社会科学院 考古研究所 第三研究室 副主任	同上	同上	同上
馮 承 澤	中華人民共和国 中国社会科学院 考古研究所 第三研究室 副研究員	同上	同上	同上
杜 玉 生	同上	同上	同上	同上
張 世 賢	中華民国 国立故宮博物院 保存科 学室長	1993.3.22~1993.3.25	埋蔵文化財センター	仏教遺跡研修
ピーター・ロウ リー・コニー	イギリス ダーハム大学 考古学科 講師	1993.3.22~1993.4.5	同上	考古学研修

発掘調査・保存・整備・探査指導

(北海道) 手宮洞窟, 常呂遺跡, (青森県) 六カ所村家ノ前遺跡, 津軽氏城跡他, (岩手県) 盛岡城跡, 志波城跡, 平泉遺跡群, 大渡Ⅱ遺跡, (秋田県) 秋田城, 払田柵跡, (福島県) 慧日寺跡, 根岸遺跡, (栃木県) 法界寺跡, 下野国分寺跡, (群馬県) 高瀬観音山遺跡, (千葉県) 市原条里制遺跡, (東京都) 品川台場跡, 野津田公園遺跡, (神奈川県) 旧太田家住宅焼損復旧, (新潟県) 八幡林遺跡, (石川県) 須賀蝦夷穴古墳, 能登国分寺跡, 横江荘遺跡, 雨の宮古墳群, (長野県) 高梨氏館跡, 恒川遺跡, 妻籠宿本陣跡, (岐阜県) 杉崎廃寺跡, 塩屋金清神社遺跡, (静岡県) 久野城跡, 賤機山古墳, 横須賀城跡, 大知波峠廃寺跡, 勝間田城跡, 巴川遺跡出土丸木舟, 登呂遺跡, 片山廃寺跡, 御殿・二之宮遺跡, (愛知県) 青塚古墳, 三河国府跡, 東畑廃寺跡, 牟呂町市道遺跡, (三重県) 城之越遺跡, 赤木城・平子峠刑場跡, 縄土廃寺跡, 夏見廃寺跡, (滋賀県) 安土城跡, 木村古墳群, 粟津湖底遺跡, 兵主神社庭園, 紫香楽宮跡, 木爪原遺跡, (京都府) 長岡京跡, 恭仁宮跡, 大覚寺御所跡大沢池, 私市丸山古墳, 加茂御祖神社境内, 遠所遺跡, (大阪府) 狭山池, 住友銅吹所跡, 難波宮跡, 大庭寺窯跡, 紫金山古墳, 池上曽根遺跡, 心合寺山古墳, 新池埴輪製作所跡, 嶋上郡衙跡附寺跡, (兵庫県) 赤穂城跡, 小犬丸遺跡, 播磨国分寺跡, 玉津田中遺跡, 篠山城跡, 佃遺跡, 山中遺跡, 黒井城跡, 淡河行原遺跡, 溝之國遺跡, 西条廃寺, 鏡子ヶ谷湿原, 二ツ屋遺跡, (鳥取県) 梶山古墳, 南谷大山遺跡, 上淀廃寺跡, 羽衣石城跡, 鳥取城跡, (島根県) 天寺廃寺跡, 岩見銀山遺跡下川原吹屋跡, 後谷V遺跡, 上長浜貝塚, 鳥ヶ崎遺跡, 斐伊川放水路, (岡山県) 備中松山城跡, 美作国府跡, 岡山城跡, 山陽自動車道関係遺跡, (広島県) 三ツ城古墳, 冠遺跡群, 草戸千軒町遺跡, 別所古墳群, 万徳院跡, (山口県) 萩城跡, 大内氏遺跡, 長登銅山跡, (香川県) 讃岐国分寺跡, 有岡古墳群, (愛媛県) 来住廃寺跡, 古照遺跡, (徳島県) 矢野遺跡, (福岡県) 上の原古窯跡, 太宰府史跡, 鴻臚館跡, 板付遺跡, 雀居遺跡, (佐賀県) 名護屋城跡・陣跡, 基肆城跡, 大黒町遺跡, 馬群竹原遺跡群, (大分県) 虚空蔵寺瓦窯跡, 向野遺跡, ガランドヤ古墳群, 大分元町石仏, 瀬戸遺跡他, 安国寺集落遺跡, (宮崎県) 国衙・郡衙・古寺跡, 蓮ヶ池横穴群, 下村窯跡 (熊本県), つつじヶ丘横穴群, 大村横穴群, (沖縄県) 浦添城跡, 糸数城跡, 友利遺跡, フルスト原遺跡, 識名園

埋蔵文化財ニュース刊行

第75号 全国文化財データベースについて

第76号 1988年度刊行埋蔵文化財発掘調査報告書に関する情報調査

5 その他

委員会等

第19回飛鳥資料館運営協議会

1992年5月19日

於飛鳥資料館

平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1992年6月5・6日

於平城宮跡資料館講堂

外国出張

沢田正昭 イースター島モアイ(石像)の保存科学的調査のため, チリへ出張

1992年4月7日～1992年4月20日

猪熊兼勝 イースター島モアイの調査研究のため, チリへ出張

1992年4月13日～1992年4月25日

千田剛道 渤海国関係遺跡調査のため, 中華人民共和国へ出張

1992年4月27日～1992年5月7日

牛川喜幸 ドイツ連邦共和国との学術交流のため, ドイツへ出張

1992年5月8日～1992年5月17日

光谷拓実 年輪年代学の分科会出席のため, イタリアへ出張

1992年5月13日～1992年5月18日

小野健吉 雲南省ナシ族の居住様式と建築技術に関する調査と研究のため, 中華人民共和国へ出張

1992年5月16日～1992年6月8日

浅川滋男 中国早期建築の民族考古学的研究のため, 中華人民共和国へ出張

1992年5月16日～1992年8月30日

猪熊兼勝 百濟古墳墓室構造の研究調査のため, 大韓民国へ出張

1992年5月27日～1992年5月31日

町田 章 トルファン郊外交河故城保存計画に係わる現地調査のため, 中華人民共和国へ出張

1992年7月1日～1992年7月8日

沢田正昭 考古遺物の保存科学的共同研究のため, 大韓民国へ出張

1992年7月27日～1992年7月31日

岩永省三 ヨーロッパと日本の青銅器文化の比較研究のため, ドイツへ出張

1992年8月1日～1992年10月31日

猪熊兼勝 ポリネシア石造物の研究のため, アメリカへ出張

- 1992年8月2日～1992年8月9日
工業普通 アムール川流域における初期鉄器文化（ボリツェ文化）の遺跡発掘調査のため、ロシアへ出張
- 1992年8月7日～1992年8月24日
杉山 洋 第8次上智大学アンコール遺跡研究国際調査団への参加のため、カンボジアへ出張
- 1992年8月8日～1992年8月28日
鈴木嘉吉、上原真人 日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年8月9日～1992年8月23日
町田 章 日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年8月9日～1992年8月24日
藤田盟児 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年8月9日～1992年8月23日
小池伸彦 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年8月9日～1992年8月24日
上野邦一 「アジア・西太平洋都市保存ネットワーク第1回シンポジウム」参加のためマレーシアへ出張
- 1992年8月14～1992年8月21日
西村 康 科学技術を利用した文化財研究法の開発のため、アメリカへ出張
- 1992年8月17日～1992年8月31日
猪熊兼勝 イースター島モアイの資料調査のため、チリ・アメリカへ出張
- 1992年8月24日～1992年8月31日
川越俊一 「古代の日本展」開催による出品文化財の保護・陳列等の現地指導のため、アメリカへ出張
- 1992年8月25日～1992年9月25日
猪熊兼勝、伊東太作、内田昭人 イースター島遺跡調査のため、チリへ出張
- 1992年9月8日～1992年9月19日
沢田正昭、肥塚隆保 パジリク王墓発掘に伴う出土品の保存科学に関する共同研究のため、ロシアへ出張
- 1992年9月22日～1992年9月30日
館野和己 「古代の日本展」開催による出品文化財の保護、陳列等の現地指導のため、アメリカへ出張
- 1992年9月22日～1992年10月31日
猪熊兼勝 百済研究国際学術大会参加のため、大韓民国へ出張
- 1992年9月28日～1992年10月2日
佐原 眞 国際シンポジウム「古代日本の芸術と技術」参加及びセーラムピーボディ博物館にて視察及び調査研究のため、アメリカへ出張
- 1992年9月30日～1992年10月10日
町田 章、工業普通 国際シンポジウム「古代日本の芸術と技術」参加のため、アメリカへ出張
- 1992年9月30日～1992年10月5日
寺崎保広、西口壽生 日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年10月4日～1992年12月5日
毛利光俊彦 「古代の日本展」開催による出品文化財の保護、陳列等の現地指導及び出品文化財日本国返却に随伴のため、アメリカへ出張
- 1992年10月15日～1992年11月15日
小野健吉、小澤 毅、村上 隆 交河故城の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1992年10月22日～1992年11月4日
猪熊兼勝、安田龍太郎、臼杵 勲 パジリク文化古墳群に関する共同研究のため、ロシアへ出張
- 1992年10月24日～1992年11月2日
綾村 宏 アジアにおける寺院の研究のため、インド・インドネシアへ出張
- 1992年11月1日～1992年12月26日
沢田正昭 日韓における考古遺物の材質・技法に関する分析の比較研究のため、大韓民国へ出張
- 1992年11月5日～1992年11月12日
沢田正昭 イースター島モアイ石像保存調査のため、チリへ出張
- 1992年12月1日～1992年12月12日
鈴木嘉吉 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1993年1月8日～1993年1月17日
猪熊兼勝 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張
- 1993年1月9日～1993年1月24日
花谷 浩 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張
- 1993年1月9日～1993年2月25日
肥塚隆保、村上隆 日韓における考古遺物の材質・技法に関する分析の比較研究のため、大韓民国へ出張
- 1993年2月4日～1993年2月10日
佐川正敏 日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1993年2月15日～1993年2月27日
伊東太作、井上直夫 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
- 1993年2月15日～1993年2月27日
猪熊兼勝 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張
- 1993年2月20日～1993年3月4日
森本 晋 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張
- 1993年2月23日～1993年3月30日

牛川喜幸, 杉山 洋 アンコール遺跡研究・国際調査団に参加のため, カンボジアへ出張

1993年2月27日～1993年3月8日

高瀬要一 仏教遺跡の調査・保存整備に関する基礎的調査研究のため, ラオスへ出張

1993年3月5日～1993年3月21日

中村慎一 仏教遺跡の調査・保存整備に関する基礎的調査研究のため, ラオスへ出張

1993年3月5日～1993年3月19日

細見啓三, 内田昭人 平城宮跡復原用木材の受給状況調査のため, 台湾へ出張

1993年3月12日～1993年3月17日

伊東太作 イースター島遺跡の写真測量調査のため, チリへ出張

1993年3月17日～1993年3月30日

猪熊兼勝 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査・指導及び助言のため, チリへ出張

1993年3月17日～1993年3月24日

山本忠尚 インド仏教遺跡の保存整備に関する調査のため, インドへ出張

1993年3月23日～1993年3月24日

寺崎保広 故宮博物院所蔵中国歴代文物及び中央語言研究所における漢簡調査の視察のため, 台湾へ出張

1993年3月24日～1993年3月31日

猪熊兼勝 百済古墳築造方法の研究のため, 大韓民国へ出張

1993年3月27日～1993年3月31日

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており, 1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが, 1992年度の状況は下記のとおりである。

区分	面積	金額
1992年度	5,357.07	279,998.364
国有地合計	339,399.95	24,689,158.912

II 図書及び資料

図書 136,193冊 (1993.3.31)

区分	種別	購入	寄贈	計
1992年度	和漢書	1,515	5,524	7,039
	洋書	47	125	172
累計	和漢書	51,460	77,363	128,823
	洋書	5,697	1,673	7,370

写真 493,464 (1992年度末)

III 研究成果刊行物

1 1992年度刊行物

	名 称
学 報	第51冊 平城宮跡発掘調査報告書Ⅳ
	第52冊 西隆寺発掘調査報告書
史 料	第36冊 木器集成図録—近畿原始編—
	第37冊 梵鐘実測図集成 (上)
図 録	第26冊 飛鳥の工房
	報告書等 近世社寺建築の研究第三号
	1991年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報
	飛鳥・藤原宮発掘調査概報22
	平城宮発掘調査出土木簡概報25
	平城宮発掘調査出土木簡概報26
	藤原京跡の <small>トイレ</small> 便所遺構

2 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名 称
1954	第1冊 仏師運慶の研究
	第2冊 修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊 文化史論叢
1956	第4冊 奈良時代僧房の研究
1957	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊 中世庭園文化史
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊 文化史論叢Ⅱ
	第9冊 川原寺発掘調査報告
1960	第10冊 平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
	第11冊 院の御所と御堂—院家建築の研究—
1962	第12冊 巧匠安阿弥陀佛快慶
	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊 唐招提寺蔵「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究
	第15冊 平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査
1963	第16冊 平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査
1965	第17冊 平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査
	第18冊 小堀遠州の作事
1967	第19冊 藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊 名物裂の成立

1971	第21冊	研究論集Ⅰ
1973	第22冊	研究論集Ⅱ
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京 一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城宮左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告Ⅶ
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ
	第28冊	研究論集Ⅲ
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976	第30冊	五条一町並調査の記録一
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ
	第32冊	研究論集Ⅳ
	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における 民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告Ⅸ
1978	第35冊	研究論集Ⅴ
	第36冊	平城宮整備調査報告Ⅰ
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ
	第38冊	研究論集Ⅵ
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告Ⅹ
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告Ⅺ
1984	第41冊	研究論集Ⅶ
	第42冊	平城宮発掘調査報告Ⅻ
	第43冊	日本における近世民家（農家）の系 統的發展
1985	第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報 告
1986	第45冊	薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発 掘調査報告書
1988	第47冊	研究論集Ⅷ
1990	第48冊	年輪に歴史を読む—日本における古 年輪学の成立—
	第49冊	研究論集Ⅸ
	第50冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅫⅢ

奈良国立文化財研究所史料

年度	名 称
1954	第1冊 南無阿弥陀仏作善集（複製）
1955	第2冊 西大寺観尊伝記集成
1963	第3冊 仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊 俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊 平城宮木簡1 図版
1967	第6冊 仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊 平城宮木簡1 解説（別冊）
1970	第7冊 唐招提寺史料1
1974	第8冊 平城宮木簡2 図版・解説

	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録—近畿古代編—
1985	第28冊	平城宮木簡4 図版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資 料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅱ
1989	第32冊	山内清男考古資料2
1991	第33冊	山内清男考古資料3
	第34冊	山内清男考古資料4
	第35冊	山内清男考古資料5

奈良県国立文化財研究所基準資料

年度	名 称
1973	第1冊 瓦編1 解説
1974	第2冊 瓦編2 解説
1975	第3冊 瓦編3
1976	第4冊 瓦編4
	第5冊 瓦編5
1978	第6冊 瓦編6
1979	第7冊 瓦編7
1980	第8冊 瓦編8
1983	第9冊 瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名 称
1976	第1冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊 日本古代の墓誌
1978	第4冊 日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊 古代の誕生仏

1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鷗尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡来人の寺—檜隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊	藤原宮—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舍利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天
1990	第23冊	日本書記を掘る
1991	第24冊	飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察
	第25冊	飛鳥の源流

Ⅳ 定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1992年度	1	22	2	61	86
1993年度	1	22	2	61	86

Ⅴ 予算 (1992年度)

人件費	682,557千円
運営費	944,634
事業管理	7,609
一般研究	59,008
特別研究	123,643
発掘調査	528,706
宮跡整備管理	71,248
飛鳥資料館運営	52,396
埋蔵文化財センター運営	50,024
本庁舎維持管理等経費	27,638
飛鳥藤原宮跡発掘調査部運営	24,362
施設費	419,041
施設整備費	50,310
平城宮跡等整備費	357,410
各所修繕費	11,321
計	2,046,232

Ⅵ 施設

土地

奈良国立文化財研究所管	47,890
本庁舎	8,860m ²
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515m ²
飛鳥資料館	17,092m ²
郡山宿舎(二)	80m ²
飛鳥資料館宿舎	1,343m ²
文化庁所管 (関係分)	1,421,668m ²
平城宮跡地区	1,083,281m ²
藤原宮跡地区	339,399m ²
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m ²

建物

1. 庁舎 28,521m²

1. 庁舎 28,053m²

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m ²					
事務室	568	122	197	90		977
研究・整理室	1,419	1,642	1,205	77		4,069
資料・図書室	1,021		383	36		1,440
会議室	338		129	42		509
講堂		384	210	89		683
展示室		845	254	648		1,747
写真室	79	256	149	64		548
遺構展示室		1,408				1,408
車庫	84	968	352	94		1,498
倉庫・収蔵庫	123	4,728	2,041	480		7,372
研修棟	1,416					1,416
その他	1,673	2,026	1,506	1,061	36	6,302
計	6,721	12,379	6,426	2,681	36	28,243

2. 宿舎等	486m ²
重要文化財旧米谷家住宅	213m ²
郡山宿舎(二)	48m ²
飛鳥資料館宿舎	225m ²

主要工事

(1) 平城宮跡地等整備費	千円
平城宮跡宮内省復原工事	122,808
平城宮跡朱雀門周辺整備工事	19,126
平城宮跡第1次大極殿地区整備工事	27,197
平城宮跡佐紀池護岸工事	11,428
平城宮跡案内板設置工事	13,647
平城宮跡内高压電機設備改修	36,968
藤原宮跡環境整備工事	185,400
(2) 官庁営繕費	
奈良国立文化財研究所防水改修工事	50,264

(3) その他(各所修繕・庁費)	
平城宮跡第3収蔵庫1階保存科学実験室 改修空調設備その他工事	3,965
埋蔵文化財センター研修棟1階機械室 ボイラー取替工事	1,545
飛鳥資料館宿舎外構整備等工事	2,369

Ⅶ 人事異動(1992.4.1~1993.3.31)

4月1日	奈良国立文化財研究所長(再任)	京都大学医学部附属病院医事課長補佐 に転任	津田富士夫
	鈴木 嘉吉	大阪大学附属図書館情報管理課会計掛 長に転任	新湯 淳史
	庶務部庶務課長に昇任	馬場祐次朗	新井 伸一
	飛鳥資料館庶務室長に昇任	家村 庸男	4月16日
	庶務部庶務課長補佐に昇任	宮谷 浩	事務補佐員(飛鳥資料館)に採用
	庶務部会計課長補佐に昇任	渡邊 康史	森井恵三子
	庶務部会計課經理係長に昇任	年梅 徹	5月7日
	埋蔵文化財センター教室室教務係長に 昇任	川島 保夫	事務補佐員(庶務部会計課)に採用
	埋蔵文化財センター長に昇任	佐原 眞	上村 敬子
	埋蔵文化財センター研究指導部長に昇 任	猪熊 兼勝	5月11日
	埋蔵文化財センター研究指導部集落遺 跡研究室長に昇任	山中 敏史	辞職
	飛鳥資料館学芸室長に配置換	工楽 善通	6月1日
	飛鳥藤原宮跡発掘調査部に配置換	島田 敏男	事務補佐員(飛鳥資料館)に採用
	埋蔵文化財センター研究指導部主任研 究官に配置換	立木 修	7月1日
	文部技官(庶務部会計課)に採用	上垣内茂樹	平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任
	文部技官(平城宮跡発掘調査部)に採 用	内田 和伸	小野 健吉
	研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部) に採用	村田 和弘	飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に 昇任
	文化庁文化財保護部文化財鑑査官に転 任	田中 琢	花谷 浩
	京都工芸繊維大学庶務課長に転任	中川 良和	埋蔵文化財センター研究指導部主任研 究官に昇任
	奈良工業高等専門学校会計課長に転任	柿本 治	村上 隆
	京都大学庶務部庶務課長補佐に転任	石塚 幸男	8月1日
			辞職
			8月13日
			辞職
			1月1日
			技能補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部) に採用
			木寅 貢志
			3月31日
			文化庁長官官房総務課専門員に転任 (日本芸術文化振興会第二国立劇場(仮 称)準備室専門員就任予定)
			松岡 進
			天理大学文学部に転任
			山本 忠尚
			奈良市教育委員会社会教育部に転任
			安田龍太郎
			辞職
			平山 重利

Ⅷ 組織規定

文部省組織令<抜粋>

昭和59年6月28日 政令第227号

第2章 文化庁

第3節 施設等機関

(施設等機関)

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

(中略)

国立文化財研究所

(国立文化財研究所)

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

文部省設置施行規則<抜粋>

昭和28年1月13日 文部省令第2号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第1款 名称及び位置

(名称及び位置)

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東 京 国 立 文 化 財 研 究 所	東京都台東区
奈 良 国 立 文 化 財 研 究 所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所

(所長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

一 庶務課

二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 職員の人事に関する事務を処理すること。

二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。

三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

一 予算に関する事務を処理すること。

二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。

三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。

四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。

五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査

研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

- 6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

- 3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

- 4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置くことができる。

- 2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。
- 3 客員研究員は、非常勤とする。

改正	昭和43年6月15日	文部省令第20号
	昭和45年4月17日	文部省令第11号
	昭和48年4月12日	文部省令第6号
	昭和49年4月11日	文部省令第10号
	昭和50年4月2日	文部省令第13号
	昭和51年5月10日	文部省令第16号
	昭和52年4月18日	文部省令第10号
	昭和53年4月5日	文部省令第19号
	昭和53年9月9日	文部省令第33号
	昭和55年4月5日	文部省令第14号
	昭和55年6月25日	文部省令第23号
	昭和58年10月1日	文部省令第25号
	昭和59年6月30日	文部省令第37号
	昭和63年4月8日	文部省令第12号

職員 (1993年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当
	鈴木 嘉吉	文部技官所長	
庶務課	小菅 康男	文部事務官部長	
	馬場 祐次朗	文部事務官課長	
	宮谷 浩	文部事務官課長	補佐
	西田 健三	文部事務官専門職員	平城事務
	美濃 越進	文部事務官庶務係長	
	桑原 隆佳	文部事務官	庶務人事
	岡田 博先	文部事務官警務長	警務事務
	港 悦子	事務補佐員	庶務事務
	大西 和子	事務補佐員	庶務事務
	福本 良子	事務補佐員	庶務事務
	新宮 恵子	事務補佐員	庶務事務
	巽 月子	事務補佐員	庶務事務
	本中 宣代	事務補佐員	図書資料
	中川 小よ子	事務補佐員	図書資料
	中垣 睦美	事務補佐員	図書資料
	石川 千恵子	研究補佐員	公保開守
	奥村 功	技能補佐員	
庶務課	萩原 寿郁	文部事務官課長	補佐
	福田 八郎	文部事務官課長	補佐
	渡邊 康史	文部技官専門職員	施設
	坂上 定敬	文部技官専門職員	藤原事務
	櫻井 雅樹	文部事務官	経理係長
	年梅 徹	文部事務官	経理主任
	林 正一郎	文部事務官	経理主任
	穴戸 雅子	事務補佐員	経理
	森本 はさき	事務補佐員	経理
	小林 玉美	事務補佐員	経理
	幸田 恵里子	事務補佐員	経理
	小林 雅文	文部事務官	用度係長
	松本 正典	文部事務官	用度係
	飯田 信男	文部技官	自動車運転
	林 和子	事務補佐員	用度
	上村 敬子	事務補佐員	用度
	坂上 定敬	文部技官	施設係長(兼任)
小園 秀彦	文部技官	施設	
上垣内 茂樹	文部技官	施設	
永井 和代	事務補佐員	施設	
米田 淳子	事務補佐員	施設	
建造物研究室	細見 啓三	文部技官室長	建築
	山岸 常人	文部技官(併任)	建築
	小野 健吉	文部技官(併任)	遺跡庭園
	島田 敏男	文部技官(併任)	建築
	藤田 盟児	文部技官(併任)	建築
歴史研究室	綾村 宏	文部技官室長	歴史
	西口 壽生	文部技官(併任)	考古
	橋本 義則	文部技官(併任)	歴史
	小澤 毅	文部技官(併任)	考古
	渡邊 晃宏	文部技官(併任)	歴史
	森本 晋	文部技官(併任)	考古

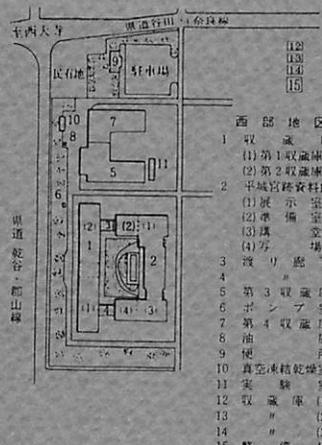
所属	氏名	官職	担当
平城	町田 章	文部技官部長	
	小林 謙一	文部技官室長	考古
	中村 慎一	文部技官	考古
	白杵 勲	文部技官	考古
	小池 伸彦	文部技官(併任)	考古
	毛利 光俊彦	文部技官室長	考古
	玉田 芳英	文部技官(併任)	考古
	巽 淳一郎	文部技官(併任)	考古
	杉山 洋	文部技官(併任)	考古
	山崎 信二	文部技官室長	考古
古城	岸本 直文	文部技官	考古
	次山 淳	文部技官	考古
	小澤 毅	文部技官(併任)	考古
	町田 章	文部技官室長(事務取扱)	考古
	藤田 盟児	文部技官	建築
	山岸 常人	文部技官(併任)	建築
	浅川 滋男	文部技官(併任)	建築
	高瀬 要一	文部技官室長	遺跡庭園
	内田 和伸	文部技官	遺跡庭園
	小野 健吉	文部技官(併任)	遺跡庭園
宮遺構調査室	館野 和己	文部技官室長	歴史
	渡邊 晃宏	文部技官	歴史
	寺崎 保広	文部技官(併任)	歴史
	森 公章	文部技官(併任)	歴史
	巽 淳一郎	文部技官主任	研究官
	山岸 常人	文部技官主任	研究官
	寺崎 保広	文部技官主任	研究官
	杉山 洋	文部技官主任	研究官
	小野 健吉	文部技官主任	研究官
	浅川 滋男	文部技官主任	研究官
掘	小池 伸彦	文部技官主任	研究官
	小澤 毅	文部技官主任	研究官
	森 公章	文部技官主任	研究官
	西田 健三	文部事務官	事務総括(兼任)
	岡田 博先	文部事務官(兼任)	警務
	佃 幹雄	文部技官専門職員	写真
	井上 直夫	文部技官専門職員	写真
	牛嶋 茂	文部技官専門職員	写真
	巽 淳一郎	文部技官主任	研究官
	山岸 常人	文部技官主任	研究官
調査部	寺崎 保広	文部技官主任	研究官
	杉山 洋	文部技官主任	研究官
	小野 健吉	文部技官主任	研究官
	浅川 滋男	文部技官主任	研究官
	小池 伸彦	文部技官主任	研究官
	小澤 毅	文部技官主任	研究官
	森 公章	文部技官主任	研究官
	西田 健三	文部事務官	事務総括(兼任)
	岡田 博先	文部事務官(兼任)	警務
	佃 幹雄	文部技官専門職員	写真

所属	氏名	官職	担当	
飛鳥	牛川 喜幸	文部技官部 長		
	黒崎 直	文部技官室 長	考古	
	深澤 芳樹	文部技官(併任)	考古	
	花谷 浩	文部技官(併任)	考古	
	井上 直夫	文部技官(併任)	写真	
	島	大脇 潔	文部技官室 長	考古
		西口 壽生	文部技官(併任)	考古
		肥塚 隆保	文部技官(併任)	考古
		岩永 省三	文部技官(併任)	考古
		金子 裕之	文部技官室 長	建築
島田 敏男		文部技官(併任)	建築	
本中 修自		文部技官(併任)	遺跡庭園	
本中 真		文部技官(併任)	遺跡庭園	
藤原		川越 俊一	文部技官室 長	考古
		橋本 義則	文部技官(併任)	歴史
	佐川 正敏	文部技官(併任)	考古	
	宮	肥塚 隆保	文部技官主任 研究官	保存科学
		西口 壽生	文部技官主任 研究官	考古
		松本 修自	文部技官主任 研究官	建築
		本中 真	文部技官主任 研究官	遺跡庭園
		深澤 芳樹	文部技官主任 研究官	古史
		橋本 義則	文部技官主任 研究官	考古
		佐川 正敏	文部技官主任 研究官	考古
岩永 省三		文部技官主任 研究官	考古	
花谷 浩		文部技官主任 研究官	考古	
櫻井 雅樹		文部事務官 事務総括(兼任)	事務	
掘	吉岡 佐和子	事務補佐員	事務	
	松本 誠	技能補佐員	保存	
	木寅 貢志	技能補佐員	資料整理	
	宮川 伴子	研究補佐員	資料整理	
	伊藤 武	研究補佐員	考古	
	村田 和弘	研究補佐員	考古	
	荒木 浩司	研究補佐員	考古	
	伊藤 敬太郎	研究補佐員	考古	
	調査部	鈴木 嘉吉	文部技官 館長(事務取扱)	
		家村 庸男	文部事務官 室長	
中西 建夫		文部事務官 庶務主任		
乾 春雄		技能補佐員	保管	
藤本 清		警務補佐員	警備	
福井 敏子		業務補佐員	庁務	
森井 恵三子		業務補佐員	庁務	
米川 まち子		業務補佐員	庁務	
飛鳥		工楽 普通	文部技官室 長	考古
		岩本 圭輔	文部技官主任 研究官	考古
	千田 剛道	文部技官主任 研究官	考古	
	大谷 照子	事務補佐員	事務	

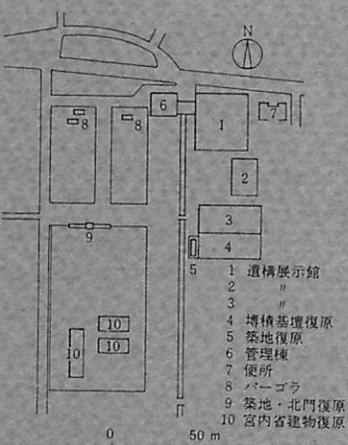
所属	氏名	官職	担当				
埋蔵	河原 純之	文部技官 センター 長					
	白井 国明	文部事務官 室長					
	川島 保夫	文部事務官 教務係 長	事務				
	岩永 恵子	事務補佐員	写真				
	牛嶋 茂	文部技官(併任)					
	蔵	猪熊 兼勝	文部技官部 長				
		研	松沢 亜生	文部技官室 長	考古		
			立木 修	文部技官(併任)	考古		
			文	山中 敏史	文部技官室 長	考古	
				上原 真人	文部技官(併任)	考古	
究				西村 康	文部技官室 長	考古	
				松井 章	文部技官(併任)	考古	
				化	沢田 正昭	文部技官室 長	保存科学
					村上 隆	文部技官(併任)	保存科学
					指	木全 敬藏	文部技官室 長
	光谷 拓実					文部技官(併任)	遺跡庭園
	松井 章	文部技官(併任)				考古	
	財	猪熊 兼勝				文部技官室(事務取扱) 長	考古
		内田 昭人	文部技官(併任)			建築	
		七	光谷 拓実			文部技官主任 研究官	遺跡庭園
上原 真人			文部技官主任 研究官			考古	
内田 昭人			文部技官主任 研究官			建築	
立木 修			文部技官主任 研究官	考古			
松井 章			文部技官主任 研究官	考古			
村上 隆			文部技官主任 研究官	保存科学			
森本 晋			文部技官主任 研究官	考古			
ン			伊東 太作	文部技官室 長	測量		
	森本 晋		文部技官(併任)	考古			
	夕		情報資料室				



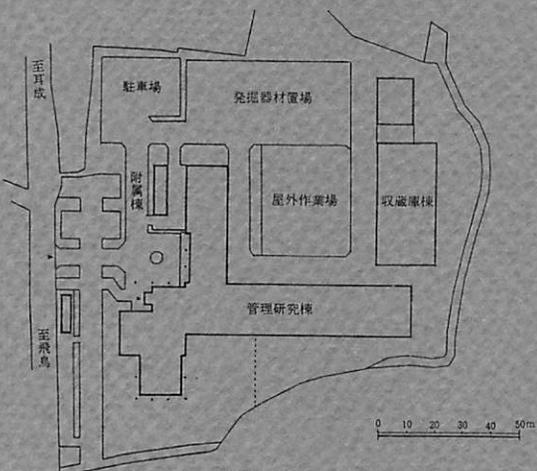
本館配置図



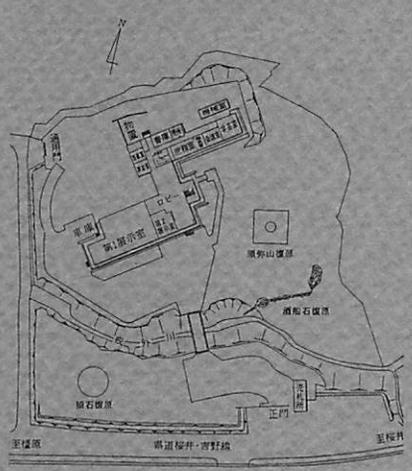
平城宮跡資料館配置図



平城宮跡遺構展示館配置図



飛鳥藤原宮跡発掘調査部配置図



飛鳥資料館配置図

